



令和3年度「高次脳機能障害入門講座」前期のご案内

**新たにオンライン
での受講も設けました。**



脳血管疾患や交通事故等で脳が損傷を受けることで生じる高次脳機能障害。脳の損傷箇所により症状も様々です。どのような症状があるのか、対応はどうすればよいのか、回復に向けたポイントなど、基礎的な内容をわかりやすくまとめた講座です。従来の会場での受講に加え、今回はオンラインでの受講（YouTubeでの動画視聴）も可能です。ぜひ、お申込みください。

お申込み方法など詳細は、「京都市高次脳機能障害者支援センターホームページ」をご覧ください。以下のお問合せ先にお電話ください。

会場受講の開催日	オンラインでの受講可能期間	テーマ
5月21日（金）	5月21日（金）から1週間	1「高次脳機能障害 概説」
6月18日（金）	6月18日（金）から1週間	2「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」
7月16日（金）	7月16日（金）から1週間	3「社会的行動障害について」
8月20日（金）	8月20日（金）から1週間	4「失語症について」
9月17日（金）	9月17日（金）から1週間	5「就労に向けて」

会場受講の開催時間： 午前10時～11時、場所：当センター1階研修室、参加費：無料
 対象者： 市内在住の高次脳機能障害のある方やそのご家族及び、その支援者
 高次脳機能障害に関心がある、市内に在住、在職、在学している方
 定員： 会場受講は先着30名、オンラインでの受講は定員なし（どちらも要申込）
 お問合せ先： 京都市高次脳機能障害者支援センター

TEL 075-823-1658, FAX 075-842-1541



京都市は持ち込み可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

よくわかる



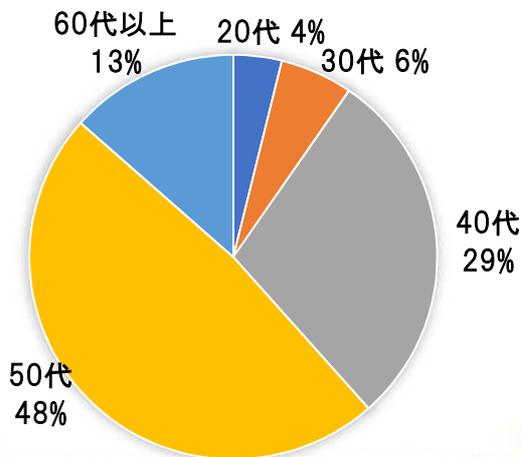
京都市地域リハビリテーション推進センターの

障害者支援施設

当施設では高次脳機能障害のある方を対象に訓練を行い、日常生活の自立や就労等の社会参加につなげていけるよう支援を行っています。

今回は、令和元年度の施設利用状況のデータをもとに、どのような利用者の方が訓練に参加されているか、利用終了後の進路などについてお伝えします。

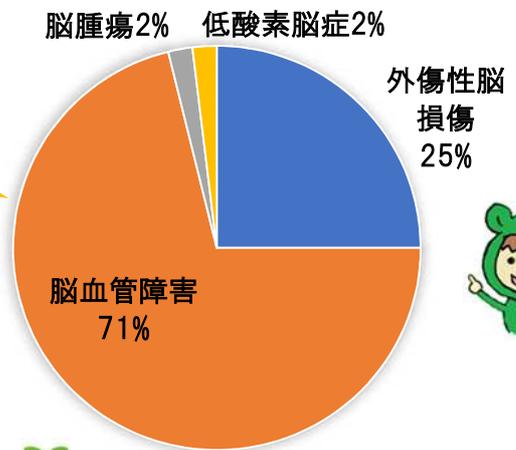
1. 利用開始時の年齢



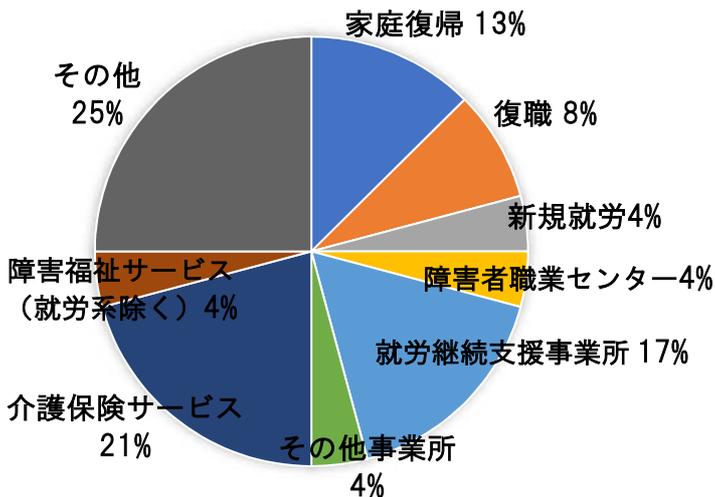
ご利用者の約8割は、40代から50代ですが、20代から30代、60代の方も利用されています。

2. 利用者の疾患

脳血管障害の中では、主に
・脳梗塞・・・20%
・脳出血・・・36%
・くも膜下出血・・・13%
による疾病が多くを占めています。



3. 利用終了後の状況



利用者が在宅生活を始める前には、家屋評価を実施し、必要な環境調整を行い、在宅サービス等の利用について、利用者と一緒に考え、助言します。復職される場合は、職場の方に対して、また、新たに就労される場合には、ハローワークや障害者職業センター等の関係機関に対して、必要な配慮や工夫を伝え、働く環境が整うように助言します。

訓練プログラムの紹介

当施設は、回復期リハ病院から退院後すぐの入所や通院リハを経るなどして利用される方が多いため、医療による訓練後、切れ目なく機能の向上につなげられるように訓練を行います。また加えて、高次脳機能障害に特有の記憶、注意、遂行など、社会生活の支障となりやすい障害に対して、しっかり時間をかけて取り組んでいけるように、専門的なプログラムを実施しています。



【運動プログラム】 >>> 目的 基礎体力や身体バランスの獲得と向上を目指す。 <<<



身体の柔軟性の維持や改善を目指して、マット上でストレッチを行います。うつ伏せや膝立ちの姿勢をとることにより、肩関節や股関節の筋活動を高めます。

準備体操や体育館内の歩行で、しっかりウォーミングアップを行います。ボールを使った運動等でバランス能力、下肢の安定性を高めます。

【壁新聞作り】 >>> 目的 協働作業を通じて自身の障害特性に対する“気付き” <<< と行動の変化を促し、社会生活能力の回復や向上を目指す。

壁新聞づくりをグループ訓練として行っています。スタッフの助言のもと、5人程度のご利用者が各々の役割を決めて記事の企画、取材、編集、校正、完成まで全て行います。



メンバー間の相互理解を深めながら企画を決め、取材、編集を進めます。その際、スタッフは、各メンバーが苦手なことに気付けるように促し、メンバー間で補完し合えるように進めます。

各メンバーが計画的に作業を進めることで、遂行機能の改善や向上を目指すとともに、身近にいる方に自身で援助を求められるよう行動の変化を促すなどし、社会生活能力の回復や向上を目指します。



記事は、季節にちなんだトピックなど、ご利用者の皆さんが興味を持って読んでもらえるように工夫しています。

(写真は平成30年度に撮影)



京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要

- ◆利用対象者：18歳以上で高次脳機能障害を有する方
- ◆利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練25名、生活訓練15名。うち施設入所支援30名。短期入所も行っていきます。）
- ◆利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長1年6か月、生活訓練は最長2年
- ◆お問合せ：京都市高次脳機能障害者支援センター

TEL075-823-1658 FAX075-842-1545



電動車椅子講習会を開催しました



令和3年3月2日(火)、京都府警察中京警察署や電動車いす安全普及協会のご協力の下、電動車椅子講習会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために定員を例年の半分とし、ソーシャルディスタンスや手洗い、消毒、換気等を実施しながらの開催となりました。中京警察署員による交通ルールについての講習に続き、実際に電動車椅子に乗っていただく操作体験では、見通しの悪い道や駐車車両がある場合の通過方法、スロープ、踏切を模した溝の通過など、実際の社会生活で問題になるような状況について、安全な環境で体験していただきました。

平成19年度から開催しているこの講習会は、電動車椅子の操作を安全な環境で体験していただける貴重な機会です。来年度以降も開催していく予定ですので、これから電動車椅子に乗ってみたいと思われている方やその方を支援されている方などは是非お気軽にご参加ください。お待ちしております。



当センターの Facebook ページを開設しました ～研修情報やイベント情報等を随時更新中～



この度、情報発信の場として、京都市地域リハビリテーション推進センターの公式 Facebook ページを開設しました。

当センターでは、年間を通して、京都市内で障害者や高齢者に関わる支援者（福祉・医療・教育・行政機関関係者等）向けの研修や市民向けの講習等を開催しています。

医療機関や障害福祉・介護保険サービス事業所、総合支援学校や育成学級等が連携を図り、地域で生活する障害のある方よりよい暮らしを実現するための一助になれば、幸いです。

今後も Facebook ページで、地域リハビリテーション推進や様々な研修等に関する情報を掲載していく予定です。ご興味を持たれた方は、ぜひ Facebook ページへの「いいね！」をよろしく願います。

URL : <https://m.facebook.com/localreha.city.kyoto/>



2次元コードからアクセスも可能です！⇒



いいね!!



★編集後記★

オンラインや、Facebook がとても身近になってきました。気持ち一つで、外出せずに情報や参加者の画像が集まる場所に行けますよね。「どこでもドア～」の時代になってきました。リハセンもポケットから出してきましたよ。まずは Facebook を覗いてみてくださいね。

【リハ✿エール】第21号 令和3年3月発行

発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地
電話 075 (823) 1650 (代表)
FAX 075 (842) 1545
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第24978号